

しゅんらん

令和4年3月発行

*シュンランは、この地にたくさん自生しています。春には甘い香りのするかわいい花をつけ、子どもの遊び友達だったそうです。このようにやさしい福祉の町ができたらいなと思いこの名前をつけました。

コロナ禍に負けない！ 地域福祉保健活動団体

新型コロナウイルスの収束が見えない中でも、つながり続けるため、たくさんの団体が模索や工夫をしながら活動を続けています。

チャコ村○△□ ～みんなで作るみんなの居場所～

チャコばあさんの思いを受け継ぎ、赤ちゃんから高齢者まで、気軽に立ち寄り、交流できる場として開放しています。(東山田)

- 🕒 火・木・土 9:00～14:00
- 👤 どなたでも

💬 イベントは中止していますが、人数制限しながら継続しています。最近、不登校の子どもたちの居場所としても開放しています。悩みを抱えた子どもたちにとって、少しでも心休まる場所になればと思い、活動を続けています。



川和リハビリ教室

楽しみながらリハビリを行い、交流できる場です。都筑が丘第2自治会館にて活動しています。

- 🕒 第一木曜 13:30～14:30
- 👤 川和地区連合地域にお住まいの方

💬 体操や健康チェックを毎回実施する他、月替わりでお花見や講座、塗り絵等を行っています。コロナ禍においても、高齢者の介護予防や交流の場として継続できるよう、感染症対策を行いながら活動しています。



学ぼう会

学習の機会を希望する子どもたちに学習支援を行っています。

- 🕒 日曜日 15:00～16:30(月4回開催) 会費 月500円
- 👤 小学4年生～高校生

💬 一人ひとりの子どもに寄り添った学習支援をする中で勉強の楽しさを知り自信を持ち続けることができるよう努めています。活動場所をかけはし都筑、つづきの丘小コミュニティハウスの2か所に分けるなど工夫しています。



ほほえみの会

お話し相手や簡単なお掃除、草取りなど、葛が谷地域ケアプラザエリアにてちょっとしたお困りごとのお手伝いをしています。

- 🕒 ご利用者調整
- 👤 高齢者や障害者世帯などお困りの方

💬 ちょっと困った時、身近に相談できる相手がいて心強いと思ってもらえるよう、地域での支え合いを大切にしています。ちょっとしたお困りごとのご相談があれば、お気軽にお声かけください。



アーモンドカフェ スープの時間 (横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業)

シニアのみなさんの健康を増進し、生きがいを支えるための傾聴を土台とした「居場所」です。楽しいプログラムと美味しいスープを用意しています。

- 🕒 月・水 10:00～13:00(予約制)
- 👤 65歳以上の方(介護認定:要支援1-2の方歓迎)

💬 明るい日差しのカフェです!! 手作り野菜ストックのスープとアートクラフト・書の活動・椅子に座ったまま体操などを楽しんでください。北山田駅・バス停から直ぐで通いやすいです。



あなたの身近の！ 地区社会福祉協議会 | イチオシ活動の紹介

地区社会福祉協議会(地区社協)は、地域住民に最も身近な社協として、地域の方が「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。区民の方々より寄せられた賛助会費や共同募金も活動費の一部として活用されています。今回は2地区が取り組むイチオシ活動をご紹介します。

荏田南地区社協

荏田南地区地域福祉フォーラムを令和4年2月27日(日)に開催いたしました。今年度は、「障害をどう捉えるか、そして今何ができるのか～他人事ではないジブンゴトとしての障害～」をテーマに、荏田南地区在住の洗足こども短期大学 准教授 下尾 直子先生にご講演頂きました。障害を正しく理解して、社会全体が障害を受け入れ、社会が変わっていく必要性を改めて感じました。

コロナ禍において、活動を制限される中で昨より新たに取り組んだ Zoom 講演という形で開催し、35カ所よりオンラインで参加して頂きました。



◀下尾 直子先生



事務局会場の様子▶

ふれあいの丘地区社協

ふれあいの丘地区社協では、都筑区地域福祉保健計画の地区別計画に沿って、連合自治会及び地域ケアプラザやボランティア団体などと連携し、地域の福祉活動を推進しています。活動内容は、主に「高齢者支援」「子育て支援」「地域住民の居場所作り」「地域防災研修」などです。特に、居場所作りでは、毎月3回「ふれあいサロン」を開催し、地域住民のコミュニケーションの場として活動しています。また、会員の「地域防災研修」も大切なテーマとして、自然災害への備えや地域の防災意識充実を図っていきます。



◀会員向け
地域防災研修



ふれあいサロンでの
交流の様子▶

コロナ禍での区社協あんしんセンターと関係機関の取組

あんしんセンターでは、ご自分で銀行に行くことが難しい高齢者や、金銭管理に不安がある障害のある方などと契約に基づき、生活に必要な金銭出納や利用料等の支払い代行、大切な書類の保管・整理のお手伝いをしています。生活支援員が毎月1～2回、ご自宅や施設に訪問または契約者に来所いただき支援しています。

生活支援員は、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら施設やご自宅を訪問しています。しかし、施設の中には感染拡大防止のため面会禁止が続き、また契約者の中には外出しにくい環境下で体調を崩し自宅療養中の方もいます。このような状況下では、生活支援員は契約者にお会いして、生活費をお渡しすることができにくくなりますが、施設では職員の方、また在宅の方はヘルパーやケアマネジャー、障害者自立生活アシスタントなど専門職の方々の工夫や配慮により、契約者にお会いして暮らしを支えることができています。

新型コロナウイルス感染への不安がある中、一人ひとりの命と生活を守るために奮闘されるエッセンシャルワーカー(社会機能維持者)のみなさまのご協力に心より感謝いたします。

あんしんセンターへのご相談等は☎045-943-4058。お気軽にお問合せください。

共同募金運動へのご協力、ありがとうございました。



令和4年2月末時点での募金額は、

赤い羽根募金：7,950,216円 年末たすけあい募金：**7,448,218円** でした。

新型コロナウイルスの影響が続く中、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、そして企業や中学校などの皆さまに、さまざまな場面で共同募金にご協力いただきました。皆さまから寄せられた募金は、地域の福祉保健活動を支える貴重な資金として活用されます。

街頭募金運動



特定非営利活動法人アスタ荇田



北部ピアの会 ハピカ



スペースシップ 2009、
みなみかぜ、つづきジャズ協会



ガールスカウト
神奈川県第41団

募金箱設置

(敬称略、順不同)

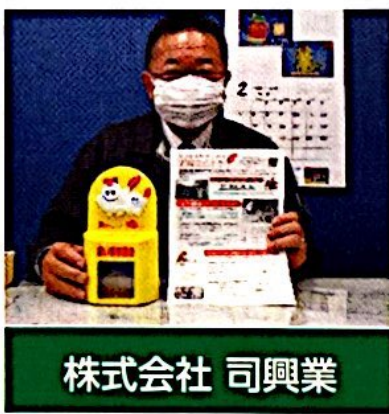
区内14郵便局、株式会社司興業、食い処・飲み処源八、健湧接骨院、株式会社アクティブコレクション、(有)大興資源
デイリーヤマザキニュータウン加賀原店、横浜ビー・コルセアーズ、パナソニックグループ横浜事業所



パナソニックエンジェルの皆さま



寄付金贈呈
(岩嶋支会長と大興資源)



株式会社 司興業

学校募金

- 荇田南中学校 ● 都田中学校
- 都田中学校では、生徒会のみなさんが朝の登校時間に1階昇降口で、募金活動を行いました。



12月26日、横浜ビー・コルセアーズ都筑区応援 Day

共同募金会都筑区支会では、横浜ビー・コルセアーズとのコラボ缶バッジを作成しました。

当日は、中・高生を中心としたボランティアが、試合会場で募金の呼びかけを行いました。



LINEPayでの募金も始めました。



LINEPayでの募金の様子

第44回神奈川県福祉作文コンクール 都筑区から2名受賞されました。おめでとうございます。
福祉作文コンクールは、「ともに生きる福祉社会づくり」をめざし、子どもたちの福祉意識の醸成を目的に実施しています。

最優秀賞・日本放送協会横浜放送局長賞 横浜市立勝田小学校 4年 小川 順正さん 「同じ時代を生きる」
優秀賞 横浜市立川和東小学校 4年 石田 泰志さん 「福祉について」

障害理解と第4期都筑区地域福祉保健計画の周知を目的に、都筑区役所区民ホールにおいてパネル展を実施しました。

障害者と地域の共生フェスタ

12月9日の障害者の日に合わせて、12月4日(土)から8日(水)に実施しました。

パネル展は都筑区社協障害福祉分科会加入団体の他、フォトグラファー後藤京子さんによる障がいのある子とその家族の写真「自然と溢れる幸せの瞬間」を同時開催して障害理解を深めました。



SNS 映え自撮りコーナー「みんなの街の水族館」

つづき あいパネル展

地域福祉保健計画は、地域の福祉保健課題について、地域住民、都筑区役所、都筑区社協、各地域ケアプラザが協働して解決に向け取り組むものです。

2月17日(木)から22日(火)の実施期間中は、地区連合自治会町内会ごとに趣向を凝らしたパネルが掲示され、来庁者も立ち止まり見入っていました。



都筑区ふれあい助成金 申請団体募集

都筑区内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として「都筑区ふれあい助成金」を募集します。

【申し込み期間】令和4年4月11日(月)～22日(金) *土・日除く

詳しくは助成金申請のてびきをご確認ください。助成金のてびき及び申請書は本会窓口やホームページの他、区内の地域ケアプラザ、区民活動センターでも配布しています。

善意銀行へご寄付いただいた皆さま ありがとうございます。

善意銀行とは、区民の皆さまからお預かりした善意の寄付金品を、障害当事者団体やボランティア団体などへ配分する事業です。今年度は寄付金のほか、食品、マスク、文房具や手作りの入学セットなど多くの物品をお寄せいただきました。

令和3年4月1日～令和4年1月31日受付分(敬称略、順不同)

金銭寄付

【団体・法人】

- ・(株)三菱 UFJ 銀行たまプラザ支店
- ・京セラ労働組合 横浜支部
- ・メテオールカラー(代表 天の川智子)
- ・都筑区社交ダンス愛好会
- ・(株)マルハン都筑店
- ・京セラ(株)横浜事務所社員一同
- ・イトーヨーカドー労働組合ららぽーと横浜支部
- ・ヤマザキ製パン従業員組合 神奈川支部
- ・京セラ(株)横浜事務所
- ・公益社団法人緑法人会

【個人】

上村正吉 若林倫太郎 匿名(3名)



物品寄付

【団体・法人】

- ・イケア・ジャパン株式会社 IKEA 港北
- ・加賀原二丁目自治会
- ・(株)悠輝ドキわくランド北山田店
- ・東山田連合町内会
- ・匿名(3団体)

【個人】

浅野博史 久保岡愛 齋藤博子 齋藤美津子 早川弘子 森井匠 匿名(3名)

寄付企業のイケア・ジャパン株式会社 IKEA 港北様



イケアでは「IKEA Family 子ども募金」の取組を通じて、地域の子どもの関連する施設に対して家具を始め、食品の寄贈を行っております。

チョコとジュース各500個他、多くのご寄付をいただきました。

フードドライブ・食支援を実施しました。
ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました！
詳しくは、都筑区社協ホームページをご覧ください。



広報紙に関する感想、ご意見・ご要望はこちらのQRコードより受け付けております。

